



吉田 利行さん(72)
きみ 公子さん(64)

＝前沢区生母字南在＝

国道4号の前沢北跨線橋の南にあるガソリンスタンド「吉田石油」。お客さんにおいしいと喜ばれるコーヒーはちよつとした自慢です。お店を営む吉田夫妻はことし結婚42年目。2人の娘に恵まれ、今は、長女夫婦、孫2人と共に暮らしています。ガソリンスタンドを開いたのは昭和51年。「やってみないかと誘われて申請してみたら、許可が通ってしまっ

雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

と笑う利行さん。「突然決まって、3歳と1歳の娘を預けたりするのに大忙しでした」と公子さんは当時を振り返ります。以来、国による営業日の制限の期間を除き、365日休まず営業を続けてきました。忘れられない出来事は利行さんが事故に遭ったこと。運転する軽トラックにスリップした車がぶつかってきて、両足を粉砕骨折しました。「切断もあり得るほどの重症を治してもらった。夜中でも多くの先生が手術してくれたおかげ」と総合水沢病院の医師に感謝する二人です。今、2人が気に掛けているのは東稲山です。レストハウスが無くなり、山が荒れてきたと感じています。「木が増えて麓からツツジが見えなくなった」と公子さん。利行さんは「東稲山を活用して平泉の観光客を市内に呼び込めたら」と思いを語りました。

夢トーク

将来の夢は「介護士」



松田 ちなみさん
(江刺区・人首小学校6年)

Interview

——学校での役割は？

児童会長です。企画委員会の中心となって休み時間に行うイベントを考えたり、児童会行事であいさつしたりします。

——普段どんなことをして遊んでいますか？

6年生の女子6人でジャングルジム鬼ごっこをしています。

——好きなスポーツは？

バスケットボールです。スポーツ少年団のドリームイーストで副キャプテンをしています。始めたのは幼稚園の年長のとき。姉の試合の応援に行ったら私も

出ることになり、それが楽しかったのがきっかけです。

——小学校生活の思い出は？

県南青少年の家での宿泊学習です。ウオークラリーの最後で道を間違えてしまって、3組中3位になってしまいました。

——将来の夢を教えてください。

介護士です。震災で亡くなった高齢者のことを知り、高齢者のためにできることをしたいと思いました。介護士の母から本を借りて勉強したり、介護のこつを参考にして3歳の弟の髪を洗ってあげたりしています。

青春讃歌

水沢農業高等学校 乗馬部

- ◎部員数 12人
- ◎顧問 下道 一彦 先生
新里 博徳 先生
鈴木 絢子 先生
吉田 道子 先生
- ◎部長 小野寺 梨紗 さん(3年)



人馬一体！ 全国の舞台での活躍目指す

過去にはインターハイや国体での優勝経験もある強豪校の水沢農業高校乗馬部。昨年のわかやま国体少年ダービー競技では、個人が3位に入賞しています。

部長の小野寺梨紗さんに副部長の似内聡浩くん、キャプテンの山本美聡さんの3年生3人が中心となって活動する乗馬部。馬に乗っての練習のほか、土日は朝夕、平日は夕方に馬の世話をしています。馬が好きで乗馬部に入ったという部員たちの中には乗馬部のために水沢農業高校に入学した人も。自らもその一人だという小野寺部長は「普段から馬に対する思いやりを持って接しています」と語ります。

インターハイ出場と国体での入賞を目指す部員たちは、県馬術連盟の千葉忠強化委員長などから指導を受けています。「指導者からは返事が小さいと指摘さ

れる」と反省を口にする小野寺部長。乗馬には人や馬に真剣に向き合う礼儀が必要だと考えています。真摯に取り組む部員の姿に、顧問の下道先生は「部の mottoである『人馬一体』を胸に取り組んでいる」と信頼を寄せ、応援します。

日曜乗馬教室や子供騎馬武者行列の引き馬などで市民と触れ合う機会が多い乗馬部ですが、県内唯一の乗馬部であることなど、知られていないことも多いと感じています。小野寺部長は「いわて国体をぜひ見に来て」と、多くの人に知ってほしいと願いました。



馬のことを考え、1人に割り振られる練習時間は15～30分と短い



木々の緑もまぶしい季節となりましたが、皆さんいかがお過ごしですか。

本市に春の到来を告げる奥州前沢春まつり、日高火防祭、江刺甚句まつりが開催されました。前沢春まつりは厄年連の演舞によるエネルギーあふれた祭りに、日高火防祭は伝統に彩られた豪華絢爛な祭りに、江刺甚句まつりは、市民総参加のにぎやかな祭りとなりました。本市の元気とパワーが県内外に伝わったと思います。このエネルギーを市発展の原動力につなげてまいります。

市民の憩いのスペースとして子どもからお年寄りまで多くの人に利用されている市まちなか交流館が開館5周年を迎え、記念イベントが開催されました。水沢区出身のシンガーソングライターMotto

さん(本名・大泉慕さん)のライブイベントで、会場は一体感に包まれました。勉強や会議、イベントなど幅広く利用できる市まちなか交流館をぜひご利用ください。

5月より前沢診療所を再開しました。岩手医大付属病院から鈴木順医師が所長として着任されました。鈴木所長が内科を、3人の非常勤医師が呼吸器内科、消化器内科、循環器内科を担当されます。鈴木所長は、総合水沢病院のほか県立高田病院などの応援診療も継続されます。医師着任には、岩手医大付属病院から多大なるご協力をいただいております、感謝致しております。これからも、地域医療の充実に努めてまいります。

九州熊本地方で大きな地震が続く、多くの人が避難生活を余儀なくされております。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。東日本大震災を経験した本市として、できる限りの援助を行ってまいります。一日も早い復旧、復興を心より願っております。

奥州市長 小沢昌記